

水質事故未然防止の取り組み

環境部水地盤環境課 規制・土壌グループ

環境部 水地盤環境課

＜主な業務＞

- ・生活排水対策
- ・公共用水域の水質調査
- ・三河湾環境再生の取り組み
- ・規制・指導業務 等々

◆規制・土壌グループ(班員7名)

＜担当業務＞

- ・事業場に対する規制・指導
- ・水質事故への対応

水質事故とは？

水質事故とは、工場からの油の流出や、排水処理の不具合等による異常排水の流出等、公共用水域(河川や海など)の水質に悪影響を及ぼしうる事故のことです。

水質事故が発生すると、魚が死んだり、利水が停止したりと、場合によっては大きな影響が出る場合があります。原因者、行政が事故対応に当たりますが、原因者には費用負担も発生します。



油流出



魚類へい死

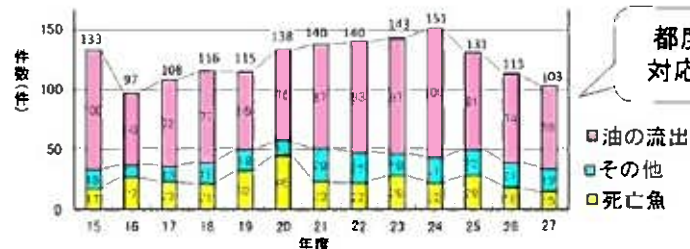
関係者(原因者、利水者、行政、県民)全員に利点なし！

あるべき姿 = 水質事故が発生しない状態

課題(ギャップを埋める為に必要なこと)
⇒事業者における未然防止の取組

従来こうした未然防止に向けた啓発活動
ができておらず、今回新たに取り組んだ

現状 = 年間100件程度の事故が発生



都度関係課が
対応している！

考え方:過去の事例を、将来の改善に繋げる

◆取り組み内容①:啓発リーフレットの整備

- ・リーフレットを作成し、WEB上で公開



◆取り組み内容②:未然防止説明会の実施

- ・未然防止のポイントについて、県内事業者向けに説明会を実施
- ・過去の事例解析から、主な要因や未然防止の注意点を整理



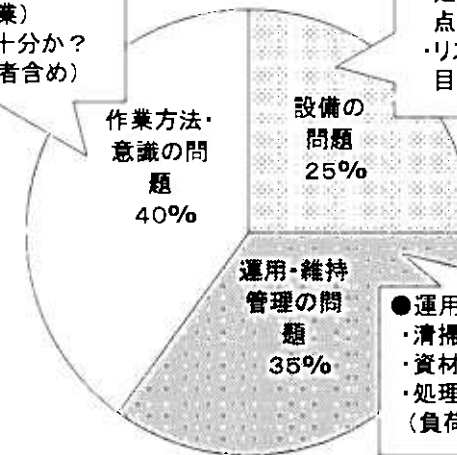
◆取り組み内容③:未然防止チェックリストの整備

- ・事業者が体制をセルフチェックできる資料の作成

説明会資料

未然防止のポイント

- 作業方法は適正か…?
・薬品・廃液等に係る作業(特に非定常作業)
- 意識(知識)は十分か?
(関連部署や業者含め)



- 設備は正常か…?
・ポンプ、水位計、配管、排水処理施設、などが、適正に点検されているか?
・リスクのある設備(機器)に、目が向けられているか?

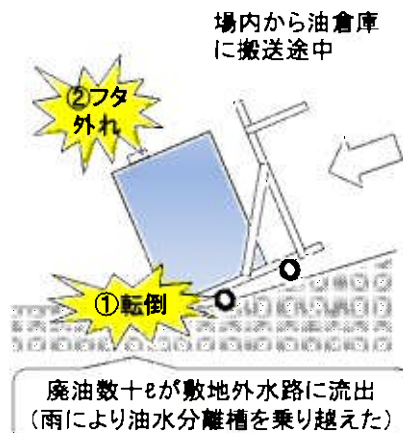
- 運用、維持管理は適正か…?
・清掃等は行われているか?
・資材の保管は適正か?
・処理施設の運用は適正か?(負荷変動など)

「リスクを認識する」ことが基本!(油、薬品、廃液、排水等)

説明会資料

ケース①(ドラム缶転倒による油流出)

- 事故概要:廃油ドラム缶が搬送途中に転倒し、雨水側溝から敷地外水路へ流出
- 対応:水路にオイルフェンス設置し、流出油を全量バキューム回収



(原因)

- ①搬送ルートに傾斜があり、台車が地面に接触して転倒した
- ②フタが緩んでいた
- ③雨の中廃油の搬送作業を行った

(対策)

- ①搬送時の床面からの高さを上げる
- ②フタは緩まないよう道具を使って締める
- ③雨天時には廃油の搬送を行わないこと、搬送時の人員体制等、ルールを整備

様々な観点から事故を想定し、**リスクのつぶし込み**を行う事が重要

説明会資料

未然防止のためのチェックリスト①

◆知識・意識について

チェック内容	チェック欄
取扱っている薬品類の基本的な性状、環境影響を把握しているか?	
排水の発生源から場外への排出経路を具体的に知っているか?	
自社の排水・廃液処理方法について把握しているか?	
主担当のみでなく、関係部署の担当者や新規従事者に、必要な知識が周知されているか?	

◆作業方法について

チェック内容	チェック欄
薬品や油等について、不安定な搬送を行っていないか?	
バルブ類の開閉について、操作方法がマニュアル化されているか?	

◆工事について

チェック内容	チェック欄
工事内容が、関係者全員に周知されているか?	
工事業者に対し、環境対策の周知ができているか?	
工事の際に起こり得る事故を想定し、事前にリスクのつぶし込みができているか?	

◆アピールポイント

①県内事業者の未然防止に関する意識強化

- ・「真因」を踏まえ、対策のポイントを伝えた。
- ・説明会では外部参加115名。アンケートでは94%が「未然防止に有効」と回答。

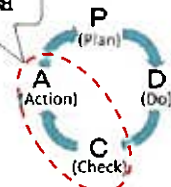
②水質事故対応業務におけるPDCAの構築

①日常の作業を見直しヒヤリハットをなくしていくことが未然防止に繋がる



1件の「重大災害」
その隣には…
29件の「軽微な災害」
更にその隣には…
事故には至らないものの
「ヒヤリ」とする状況が300件

②今回取組



◆課題

- ・今後も継続的な取り組みが必要！

エクセルを用いた 広報資料の管理の効率化



尾張県民事務所 県民安全課
相談・旅券グループ

皆さんにお尋ねします。

! あなたの所属では、壁に**期限切れのポスター**が貼ってありませんか？

! **期限切れのパンフレット**を配架して、**県民の方から指摘**をされたことはありませんか？

! **チラシの在庫**を聞かれて、**倉庫へ数え**に行ったことはありませんか？



皆さん、広報資料の管理は、“あいまい”になりやすいという実感がある。

私達の職場（尾張県民相談室）は広報の最前線

- 一宮市中心地にあり、1日に**百人**が来所
- 様々な機関からの 常時**1千点**を超える**広報資料**の品揃え
- 実質の資料管理担当者は **嘱託員1名**
- **県民相談**や**旅券の発給**も行っており、窓口案内や幅広い内容の電話照会にも**速やかに対応**する必要



資料管理の効率性が、県民サービスの質に直結！

資料管理のめざす姿

<うっかりしているうちに>

限られたスペースに
資料があふれる恐れ

<めざす姿>

期限が来た資料は
速やかに廃棄
“新陳代謝”

県民からの資料照会や
問い合わせに
即答できず、**待ち時間発生**

なじみのある「エクセル」を
使ったデータベースの整備
“検索しやすく不安解消”

モノもアタマもスッキリといきたいですね！

私達は、そんなお悩みを解決する
便利なツールを作成しました！

こんな良いもの
よそにもおすすわけしたいわ！



配架期間に応じて **行を自動的に色付け**
することで、視覚的に管理できます。



配架中の資料一覧などの **帳票を自動作成**
します。



入力フォームの使用で、**入力の漏れ・誤り**を防止します。



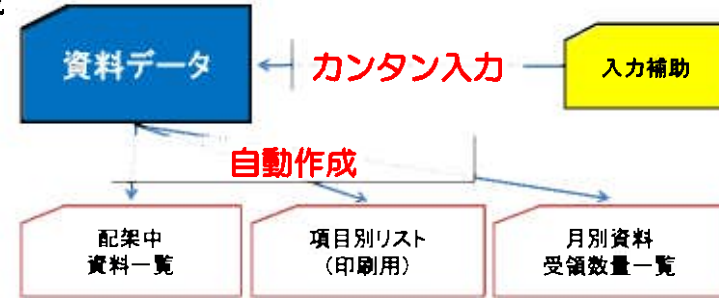
有効期間の管理が必要な **他の業務にも応用**できます。



窓口担当

ツールの基本構成

構成



各シートの機能

資料データ

広報資料の全データを蓄積

入力補助

入力フォーム、インポート機能等

配架中資料一覧

現在配架している資料の一覧

項目別リスト(印刷用)

項目ごとの一覧の作成

月別資料受領数量一覧

月ごとの資料一覧及び受領総数の集計

シートのイメージ 『入力補助』

シートのイメージ 『入力フォーム』

行の色付け 2月15日

資料名	種別 冊子	配架場所	配架開始年月日	配架終了年月日	配架状況
あいちさん 2016冬 出48		日：銀行	29.01.11	30.01.31	○
累計の金融行動に関する世帯調査	冊子	金融広報中央委員会 (愛知県金融広報委員会)	29.01.11	30.01.31	○
I KOJI A I 東三河緑の国トリップ スマホを片手に東三河へ旅しよう!	チラシ	東三河経済企画協会の 部企画部編纂	29.01.11	29.03.17	○
愛知県産うなぎ消費喚起イベント「あいちのうなぎ」で冬を乗り切ろう	チラシ	農林水産部産物消費推進課 企画・消費グループ	29.01.11	29.03.26	○
愛知県産うなぎ消費喚起イベント「あいちのうなぎ」で冬を乗り切ろう ポスター	ポスター	農林水産部産物消費推進課企画・消費グループ	29.01.11	29.03.26	○
あいち生鮮系ネットワークフォーラム～生鮮系ネットワーク協議会の成果とこれから～	チラシ	愛知県農林水産部 園芸課・生鮮系グループ	29.01.31	29.02.14	○
第70回全国植樹祭マスコットキャラクター募集	チラシ	第70回全国植樹祭愛知県実行委員会事務局(農林水産部農林園芸課) 愛知県農林水産部園芸課 企画推進室	29.01.11	29.02.28	○
あいち国際プラザ 2017 1 出17	冊子	(公財)愛知県国際交流協会 企画課	29.01.11	29.03.31	○
愛知県公刊 号外第21号	冊子	総務部法制文書課	29.01.11		○
愛知県公刊 号外第22号	リーフレット	総務部法制文書課	29.01.11		○
愛知県公刊 第3345号	リーフレット	総務部法制文書課	29.01.11		○
愛知県公刊 第3345号附1号	リーフレット	総務部法制文書課	29.01.11		○
愛知県公刊 第3345号附2号	リーフレット	総務部法制文書課	29.01.11		○
愛知県公刊 第3346号	リーフレット	総務部法制文書課	29.01.11		○

見出し変更の自動反映(汎用性)

The diagram illustrates the automatic reflection of title changes in a database system. It shows a sequence of operations: 1. A data table with columns for '資料名' (Title) and '備蓄資材' (Inventory Material). 2. A search form with fields for '資料名' and '備蓄資材'. 3. A search result list showing the updated '資料名' and '備蓄資材' fields. Red circles highlight the '資料名' field in the table and search form, while blue circles highlight the '備蓄資材' field in the search form and result list. A blue arrow points from the table to the search form, and another blue arrow points from the search form to the result list.

作成に当たり工夫した点 “使いやすさの追求”

- 他の県民事務所での **試験運用** を通じてご意見をいただきながら、環境の異なる窓口でも **利用しやすくなるよう 何度も改良**を重ねた。
- なるべくエクセルの標準機能を活用して、将来的なエクセルのバージョンアップの際にも **影響が少なくなるよう 配慮**した。
- 皆さんに使っていただけるよう **「使用説明書」**を作成した。
- 配架場所にあらかじめ番号を割り振れば、資料の数量だけでなく、**所在も簡単に検索**できるようにした。
- データを所属の **共有フォルダ**に入れておけば、誰のPCからでも配架状況が **情報共有**でき、急な資料要求にも対応できる。

導入の効果

窓口担当者の評価

- 😊 **視覚化、自動化により 煩わしさが軽減。作業時間削減 年120時間!**
- 😊 **他の職員も資料の配架状況が分かるため、担当者が不在の場合でも対応可能。また、休みも取りやすい。**
- 😊 **一覧表をもとに、実際に資料の廃棄を行った結果、資料の重なりが少なくなり、スペースに空きが生じて、事務所の「顔」がすっきりとした。**

県民の声

- 😊 平成28年11月7日～18日に実施した 窓口利用者アンケートでも、**「建物は古い、中は清潔で良い」**といった意見をいただいた。

広報資料を扱う他所属での活用

① 地方機関の窓口



(例)
県税、保健所、農林水産、建設などの
事務所

② 県民利用施設の広報コーナー



図書館、美術館、学校など

応用の可能性

① 有効期限のある物資

食品、飼料、薬品、
備蓄品、建築資材など



② 定期の点検や更新が必要な設備・物品・権利

消防設備・器具、計量器具、
ボイラー、ソフトウェア、保険、
補助金検査など



汎用性

**可能な範囲で御活用いただければ幸いです。
対象が多いほど効果が期待できるかも！**

ご清聴ありがとうございました。



県営名古屋空港 エプロンへの旅客動線の設置



振興部航空対策課
空港運営グループ・空港整備グループ

県営名古屋空港の概要

- ・通勤航空（小型の飛行機によって定期的に運航する地域航空輸送）やビジネス機など、小型航空機の拠点として平成17年2月（中部国際空港の開港と同時に）に開港。



県営名古屋空港の通勤一路線

平成29年1月1日現在
1日24往復（48便）運航



旅客搭乗に係る現状（他空港）

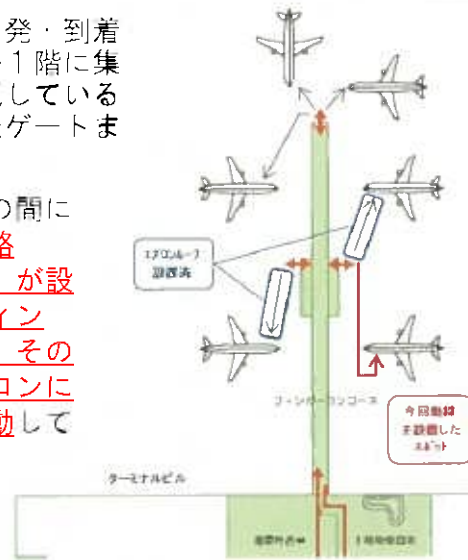
- ・中部国際空港など、多くの空港ではボーディングブリッジが設置されており、旅客はその中を通して航空機に搭乗している。



旅客搭乗に係る現状（県営名古屋空港）

・県営名古屋空港では、出発・到着に必要な施設をターミナル1階に集約し、短い旅客動線を実現している（ターミナル入口から搭乗ゲートまで最短で200m）。

・ターミナルと航空機との間には、日本初の屋根付き通路「フィンガーコンコース」が設置されており、旅客はフィンガーコンコース内を進み、その後、搭乗ゲートからエプロンに出て航空機まで徒歩で移動している。



旅客搭乗に係る課題

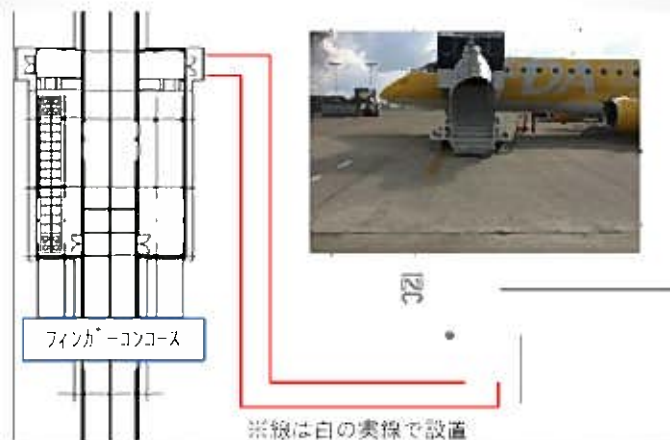
・航空機が駐機する6スポットのうち2スポットについては、エプロンルーフの中を歩いて航空機まで移動できるが、残りの4スポットにはエプロンルーフがなく、うち1スポットは、航空機の乗り込みがゲートの反対側となる。

・旅客が他の航空機に近づいたり、広がったりしないよう、旅客の監視の点で改善が求められており、係員の誘導に加え、より安全に移動できる手段の検討が必要であった。



取組内容

・空港のエプロン上に旅客動線を設置した。
(エプロンルーフのない4スポットのうち、試験的に1箇所を実施。)



取組の効果（取組前の写真）



明確な動線が示されていないため、時折、旅客がエプロン上に広がって歩行することがあった。

取組の効果（取組後の写真）



旅客が動線に沿って歩行することとなり、安全・保安上の改善が図られた。

今後の方向性

・今回は、試行的に1箇所を実施したものであるが、結果として大きな改善が図られたことから、残る3スポットについても長期間の効果を見ながら調整していく。

・県営名古屋空港では、さらなる安全確保を図るため、危険源に関する情報や安全改善提案などの安全情報を空港内の事業者から収集している。

今後も、安全情報報告強化期間を設定するなど、空港内の事業者から安全情報を積極的に収集するよう努める。

安全情報報告強化期間 平成25年12月18日（木）～平成25年1月13日（金）

空港で働く皆様からの安全につながる情報を募集します

何の絵？

～ちょっと視点を変えてみよう～



上の絵は同じ絵ですが、思い込みや、疑わしいものによって見え方が変わります。日常の安全や目撃情報を見るときも、思い込みや疑わしいものによって見え方が変わります。日常の安全や目撃情報を見るときも、思い込みや疑わしいものによって見え方が変わります。

思い立ったら記入してすぐ送信！

安全情報報告書	
姓 名： 〒466-8601 名古屋空港 TEL:0663-29-1100	職 名： 所属先： 〒466-8601 名古屋空港 TEL:0663-29-1100
1. 報告事項（該当するものを□で囲んでください）	
事故等 □ マシ □ トラブル発生 □ 危険源に関する報告 □ 安全改善提案	
1) 報告	
2. 意見等（事故等の原因や改善提案等を入力してください）	
3. その他	

ご清聴ありがとうございました



保有劇物試薬の集約と整理

あいち産業科学技術総合センター
食品工業技術センター



1

食品工業技術センターの概要

- ◆昭和31年4月に愛知県食品工業試験所として開所（2016年で60周年）
- ◆業務
県下の食品関係中小企業（主に製造業）の技術的支援
- ◆組織
センター長以下、総務課と3室の技術室（職員30名）

2

主な業務と薬品管理

研究開発

依頼分析

理化学・生化学の実験や分析、機器分析などの薬品を使用する業務

- ◆ 多種類の薬品を保有
- ◆ 毒物や劇物などの法規制のある試薬は内規に従い試薬毎に受払簿を作成
- ◆ 室毎に試薬を購入・管理

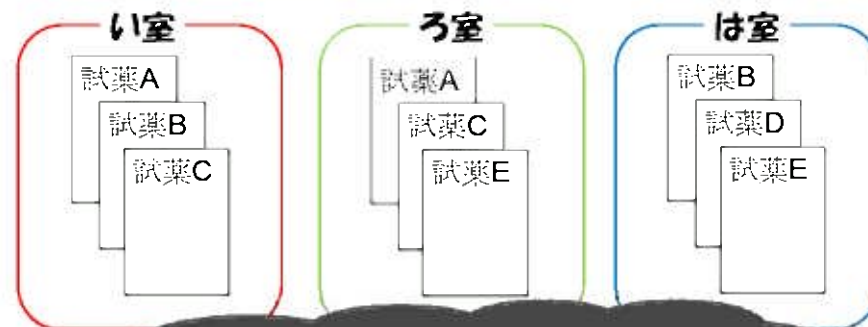
各室の薬品委員が管理

3

現状と課題

複数室で同じ劇物を保有

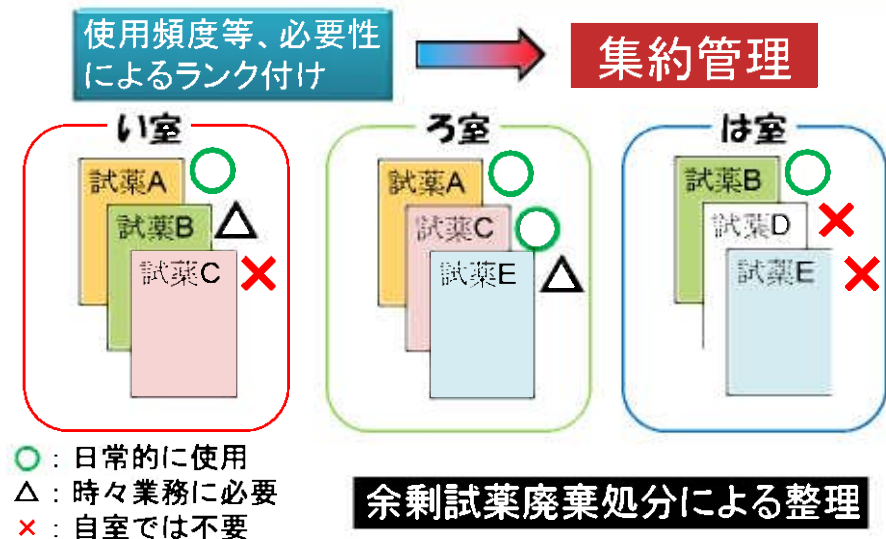
受払簿が多い



毎月の使用量・保有量の確認作業が負担に

4

取組内容



成果

- ▶ 劇物受払簿が3分の2に減少(139→94)
→ 薬品委員の業務負担が軽減
- ▶ 開封後に使い切れず保管していた余剰試薬の整理
→ 試薬の品質管理がしやすくなった
- ▶ 各室保有劇物試薬の情報共有
→ 試薬購入時の重複購入防止



課題と今後の方向性

課題

- 業務上必要なため使用頻度は低いですが廃棄できない試薬については、業務負担軽減には繋がらなかった。
- 劇物試薬から調製される試験用溶液などが劇物の条件に当てはまる場合も受払簿を作成するが、それぞれ濃度等の規格が違うために集約できない。

今後の方向性

- 劇物試薬の使用頻度や必要性は定期的に見直し、保有量削減に努める。
- 法規制の無い一般試薬についても、同様に保有量削減していきたい。

農林水産部イベントカレンダーの作成(共有)について



農林水産部
農林政策課
広報・調整グループ

農林政策課 企画グループ 広報・調整グループ

主な業務

- ・部全般に関連する事項の企画調整及び調査に関すること
- ・部所管事項の広報に関すること
- ・部全般に関する政策の調整に関すること



農林水産部の施策

「食と緑の基本計画2020」

～食と緑が交差する豊かな「あいち」をめざして～



1 競争力の高い農林水産業の展開による食料等の安定的な供給の確保

2 農林水産業への理解の促進と食料等の適切な消費の実践

3 自然災害に強く緑と水に恵まれた生活環境の確保と元気な地域づくり

農林水産物のブランド化の推進

○農業産出額は約3千億円で中部地区最大、全国第8位(平成27年)。
産出額等が全国トップレベルの名古屋コーチン、花、抹茶、あさり、うなぎなどの県産農林水産物のブランド力を強化し、知名度向上や需要の拡大を図る取組を推進。

名古屋コーチン



知名度・品質ともに「地鶏の王様」と高い評価。

花き



54年連続で日本一の「花の王国あいち」

産出額日本一の品目 (※平成24年度) (1円は全国シェア)

きく 208億円(32.8%) ばら 26億円(13.9%) 洋ラン 63億円(20.2%)

抹茶

西海市を中心に「抹茶」の原料となる「てん茶」の生産が盛ん。

あさり



あさり類 8,282トン(60.0%)
【生産量・全国1位】

うなぎ



うなぎ養殖 5,115トン(26.4%)
写真は名古屋名物の「ひつまぶし」
【生産量・全国2位】

小麦「きぬあかり」



写真は「きしめん」

カーネーション「カーネーション」



「長く觀賞できる切花」を求める消費者ニーズに応えて開発したカーネーションの新品種。

※平成27年(1)内は全国シェア

農林水産部の取組

- 愛知県＝工業県...実は、**愛知県＝農業県**でもある。
○農業産出額全国第8位(中部地区最大)
- 全国に誇る農林水産物がたくさんある。
○花、抹茶、名古屋コーチン、あさり、うなぎetc.

◎このようなことを県民の方にもっと知ってもらい、さらに食べて(使って)もらうことで、愛知県の農林水産業を更に盛り上げていく。



現状と課題

- 県産農林水産物のPRイベント等を、部内各課で実施しているが、県民へ広く周知することが課題となっているものもある。
- イベントの内容によっては、課の垣根を越えて協力できるものがあるかもしれないが、他課が実施するイベントに関する情報は、記者発表資料等からしか把握できない状況であった。

【課題】

・他課がどのようなイベントをいつやっているか、相互に把握が難しい。

目標 ①ひとりの県民として

- 職員自身がイベントがあることに気付く
- ↓
- 職員自身やその家族、友人が多くのイベントに参加するようになる。
- ↓
- 広報役を担い、イベント実施について広くPRする。
- ↓
- イベントについて県民に周知し、来場者をさらに増やす。

◎農林水産業への理解促進

目標 ②農林水産部職員として

- 他課のイベント状況を把握する。
- ↓
- 別々の課を結びつける連携を生み出す。
- ↓
- 農林水産部で課の垣根を越えた相乗効果をねらったPR活動を行う。
- ↓
- (将来的に)部局間での全庁的な連携のツールとする。

◎愛知県全体の盛り上げへ

取組内容

- 毎月、部内各課に照会をかけ、取りまとめ、「農林水産部イベントカレンダー」を作成。
- 毎月、部内の課長会議で説明。
- 同時に、県職員ポータルシステムの部局掲示板に掲示。

◎部内職員に広く周知される

イベントカレンダー

開催日	開催・イベント名	開催場所
10/10(日)～12/4(日)	あいちの農林水産フェア	あいち総合センター
11/9(日)～11/10(日)	ふじとふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
12/1(日)～12/2(日)	農林水産部主催のフェア「ふじの国産ワインフェスティバル」(県産農産物の販売、体験学習等の実施)	ふじの国産ワインフェスティバル
12/12(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
12/19(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
1/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
2/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
3/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
4/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
5/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
6/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
7/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
8/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
9/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
10/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
11/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル
12/10(日)	ふじの国産ワインフェスティバル	ふじの国産ワインフェスティバル

【今後の課題】
・記者発表前のイベントの扱い
⇒部外への情報提供の実現

成果(職員の声)



- ①ひとりの県民として
 - 農林水産部内でこんなにもたくさんイベントが行われているなんて知らなかった。
 - これから色々参加してみたい。
 - イベントカレンダーを見て、実際に他課のイベントに参加してみたが、とても賑わっていて面白かった。また参加したい。

成果(職員の声)

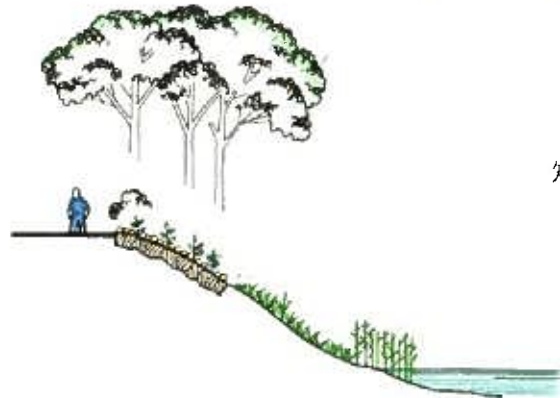


- ②農林水産部職員として
 - このようなカレンダーは今までありそうで、なかった。**部内の全体的な動きも把握**できるし、連携方法について考えるきっかけとなった。
 - 他課のイベント内容を見ながら、今後のイベントのよりよい実施方法を考えたり、**仕事をする上でとても参考になる。**
 - (将来的に)年間を通じてイベント実施時期を記者発表よりも前倒しに知ることができ、部局間連携について模索しやすくなる。

御清聴ありがとうございました



『市民協働による 植樹から管理手法の確立まで (下り松川「水辺の緑の回廊」)』



知立建設事務所
維持管理課
河川整備課

下り松川「水辺の緑の回廊」整備事業について

期間：平成13年～平成17年
延長：約1,800m
植樹本数：約12,000本
参加人数：約1,000人
(元刈谷地区の地域住民組織と協働で植樹)



(目的)

- ①『地域住民と河川の良い関係の再構築』
- ②『自然環境と良好な景観の回復』



河畔林の状況と問題点



枝が道路にはみ出ている！

うす暗く防犯上よくない！

風通しが悪い！

(問題点)

- ・ **管理や剪定手法**について決められていなかった
- ・ 木々が生長の中で、ある程度**自然淘汰**されることを想定していた
- ・ 植樹の際に約束された地域住民による**日常管理**が実施されなかった

新たに行政と地域住民の協働による管理手法の確立が必要

『調整会議』の実施



平成24年から**地域、刈谷市、県**で調整会議

- 管理の役割分担を明確化
- 継続的な河川環境の美化・保全
- 河川と地域の関係が再構築できるような維持管理手法の検討

県(河川管理者)
大規模な伐木・剪定

元刈谷地区

- ・ 地域活動が活発な地区
- ・ 川を地域の憩いの場としたい
- ・ 植樹当時から行政と協働の思いが強い
- ・ 中学生が下り松川周辺の美化を提案

刈谷市(道路管理者)
道路際の除草、剪定

伐木・剪定作業を地域と行政の協働事業としてイベント的に行う方向で検討

県(河川管理者)
下草刈り

『間引き会』開催が決定

地域住民組織(元刈谷自治会等)
小規模な下草刈、清掃、枝打ち等日常管理

治水位▼

「間引き会」の実施



- 作業内容・役割分担
- 県 事前に業者による伐木・剪定
- 地域 小割し、軽トラック等で運搬
- 刈谷市 刈りかたで処分枝を受け入れ



多くの地域住民、中学生、地元の造園業者も参加
作業後、炊き出しで地域の交流

→地域の河川環境美化の意識が高まる
地区として間引き会以外でも河川美化の活動を行っていく意向

- 参加人数
- H25 約150名
- H26 約250名
- H27 約150名
- H28 約230名

地域の維持管理の意識の高まり

- 下り松川愛護会発足
構成人数約100名
年間4回の河川環境整備活動
10名程度の美働部隊で日常管理

- 愛護看板設置



中学卒業式で2年生から卒業生への送辞でも下り松川の間引き会の話があった

①『地域住民と河川の良い関係の再構築』が実現

初年度（H25）の伐木・剪定手法の設定

- ・『見通しが悪い』『うす暗く防犯上よくない』『交通の支障になる』等の苦情
- ・県としても伐木・剪定サイクルを長くしたい
- 要望を重視し、大きな樹木の伐採、強剪定を実施。しかし・・・



②『自然環境と良好な景観の回復』を実現できず・・・

伐木・剪定手法の改善

自然環境と良好な景観の回復と地元住民の要望の両立を目標に伐木・剪定手法の改善策を考案 → モデル林を現地に提示



伐木・剪定手法の検証

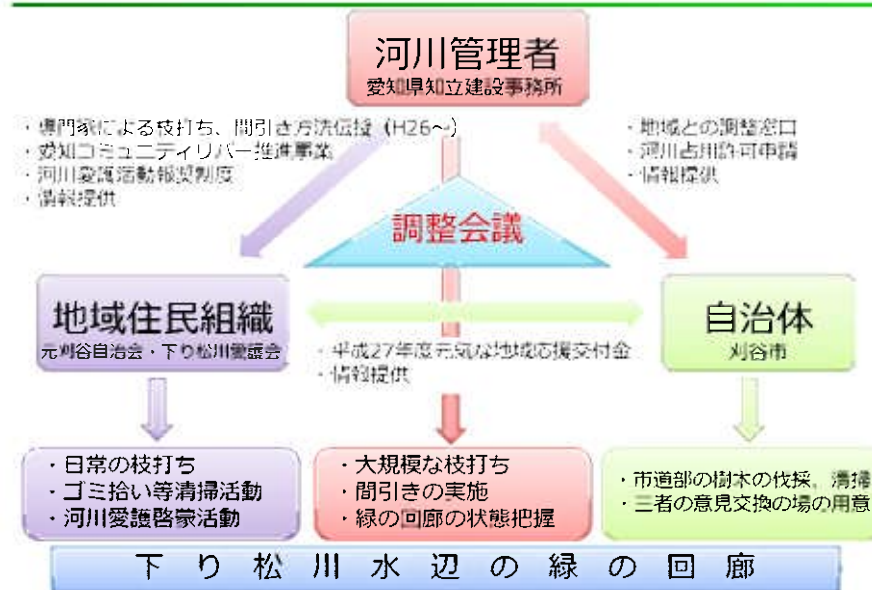
■ モデル区間（50m）をモニタリング



- ・見通し・風通しも良好な状態を維持
- ・適度な日差しにより暗さや圧迫感もない
- ・一部道路沿いの樹木の生長により張り出しがみられるが、限定的で日常管理の範囲で対処可能

②『自然環境と良好な景観の回復』を実現し、
日常管理もしやすい状況が継続

下り松川「水辺の緑の回廊」の維持管理モデルの確立



今後の展開

本事業は一般社団法人 全日本建設技術協会による
平成27年度全建賞を受賞



このことから、今回の手法が全国的な共通課題を解決する1つの有効的な手段として認められたと考えられる

- 今後の展開
今回確立した地元が主体となった維持管理体制を「**下り松川モデル**」として県下の他河川の『水辺の緑の回廊』の管理方法の確立に向け発信していく

おわりに



ご清聴ありがとうございました



愛知県警察本部
警備部機動隊

悪条件下対応型 密着靴カバー



従来の装備品の現状



長靴



胴長

構造上、靴のように
足にフィットしないので
足回りが安定しない

靴から履き替えるのに
時間と手間を要す

足場の悪い不安定な場所では...



抜けにくい...

動きにくい...

足が浮いてしまうため
動きづらい

↓

作業者のストレス
迅速な活動の妨げ

効率悪いな...
何とかならないかな...



取り組み内容

悪条件下対応型 密着靴カバーの開発



① 発想の転換

「長靴」に履き替える



靴の上から足全体を包み込む
「靴カバー」を使用

② 素材の選定

クロロプレンゴム

防水性、耐熱性に優れる

厚さ1mmで伸縮性あり

汚染区域での使用可(耐薬品性)

③ 製作

市販品・類似品無し

ゴム生地を切り縫いた自作

取り組み成果



作業者の負担軽減

生地が薄く装着時の違和感がない
足をとられる危険性の減少
完全防水で衛生面の問題なし

作業効率の向上

密着するので力がダイレクトに伝わる
足抜きがスムーズで動きやすい

足元に気を取られる心配がないので
作業を安全かつ迅速円滑に進めることが可能となった

取り組み成果

取扱・保管



小さくまとまる
持ち運びが容易
携帯にも便利

着脱



着脱が容易
背面に防水チャックを採用
着脱時間僅か10秒

移動



陸上での移動可
見た目もスッキリ

素早い立ち上がりが可能となった他
取扱い全般における有用性が向上した

おわりに

